

2022年8月9日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

インドネシア教育大学と学術交流で連携協定

中部学院大学（学長 江馬 諭）および同短期大学部（学長 片桐 史恵）は、インドネシア教育大学（学長 Dr.M.Solehuddin）と学術交流に関する連携協定書の調印式を行うことになりました。

本学には、インドネシアからの留学生が多数（2022年8月8日現在12名）在籍し、インドネシアとの国際交流・異文化交流の推進に前向きに取り組んできました。今年6月末には、インドネシアの伝統楽器「アングルン」のジャワ島・西バンドン市首席奏者が岐阜県を訪れるのに合わせて実施した特別講義「合奏ワークショップ」を機に、駐日インドネシア大使館との接点生まれ、そのご協力により、バンドン市に拠点を置くインドネシア教育大学と学術交流を深める協定を結ぶことになりました。

協定項目は、学生間の交流（スタディーツアーなど）、インターンシッププログラムの構築、教職員間の交流や研究などを盛り込んでいます。具体的には、学生の海外研修などをはじめ、本学の柱である保育・教育や福祉分野において、幼児から高齢者まで、障がいの有無に関係なく合奏できる「アングルン」を「ユニバーサル楽器」と捉えたレクリエーションプログラムの開発、さらには学術研究の促進などを図り、両大学のみならず、日本とインドネシアとの国際交流のさらなる推進、異文化理解を深める機会になることを期待しています。

記

- 日時 2022（令和4）年8月12日（金）午前10時～
- 場所 駐日インドネシア共和国大使館
（東京都新宿区四谷4丁目4-1 電話03-3441-4201）
- 出席者 [インドネシア共和国大使館]
ヘリ・アフマディ 駐日インドネシア共和国特命全権大使 ほか
[インドネシア教育大学]
アヨ・スナリョ 文化学科 学科長 ほか
[中部学院大学・同短期大学部]
江馬 諭 中部学院大学 学長
片桐 史恵 中部学院大学短期大学部 学長 ほか

■ 日 程 調印式

(抜粋) あいさつ (駐日インドネシア共和国特命全権大使、江馬学長、片桐学長)
記念撮影 ほか

調印式に先立ち、今月 10 日 (午後 1 時～同 2 時) には、インドネシア教育大学の関係者が本学を訪れ、歓迎セレモニーを行います。教職員と交流するのをはじめ、岐阜県に滞在中は美濃和紙の手すき体験 (本美濃紙はユネスコ無形文化遺産) なども行います。

【備 考】

[インドネシア教育大学 (Universitas Pendidikan Indonesia=UPI)]

1954 年 10 月 20 日に教員養成を目的とした国立大学として設立。教員養成を目的とし、1 つのメインキャンパスといくつかのキャンパスを持つマルチキャンパス大学。日本の大学とも連携しており、毎年多くの日本人学生が留学している。学生数は約 34,000 人。

(Jl. Dr. Setiabudi No.229, Isola,Kec, Sukasari, Kota Bandung, Jawa Baret 40154, Indonesia)

【中部学院大学・同短期大学部 (Chubu Gakuin University & College)】

1967 年、岐阜県関市に岐阜済美学院短期大学を開学。1997 年には 4 年制大学の中部学院大学を開学。大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科、通信教育部、留学生別科。関と各務原の 2 キャンパス。海外の大学と提携を結ぶのは、大学 11 例目、短期大学部 7 例目※1)。インドネシアの大学とは短期大学部は初めて。大学は、ムハマディア大学スラカルタ校 (2016 年 1 月～)、同大ジョグジャカルタ校 (同年 3 月～) に次いで 3 例目。海外の機関とは 2 例あり。

※1 ノルウェー、モンゴル、フィリピン、台湾、ベトナム、アメリカ (ハワイ)

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 国際交流・留学生支援課 (担当：渡辺・栗山)

TEL 0575-24-2766 E-mail : cgi@chubu-gu.ac.jp